

# Smile

## Communication

スズケングループ CSR報告書  
2014

*Design Your Smile*  
健康創造のスズケングループ

### 表紙について

スズケングループCSRの活動を表紙全体で表現しました。ハートはステークホルダーへの想い、4色のリボンは「健康創造」の事業領域で当グループが展開している4つの事業セグメントを表しています。青は医薬品卸売事業、緑は医薬品製造事業、ピンクは保険薬局事業、オレンジは医療関連サービス等事業です。

ステークホルダーへの想いを4つの事業が一体となって大切に包み込み、グループ経営理念の実現に向けて活動していく姿勢を表現しています。

### ■本書に関するお問合せ先

株式会社スズケン CSR推進室

〒461-8701 愛知県名古屋市東区東片端町8番地 TEL(代表):052-961-2331

2014年10月発行

### ■見やすさへの配慮



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



# すべての人々を「笑顔」に

スズケングループ経営理念の実現こそが、わたし達のCSRビジョンです。

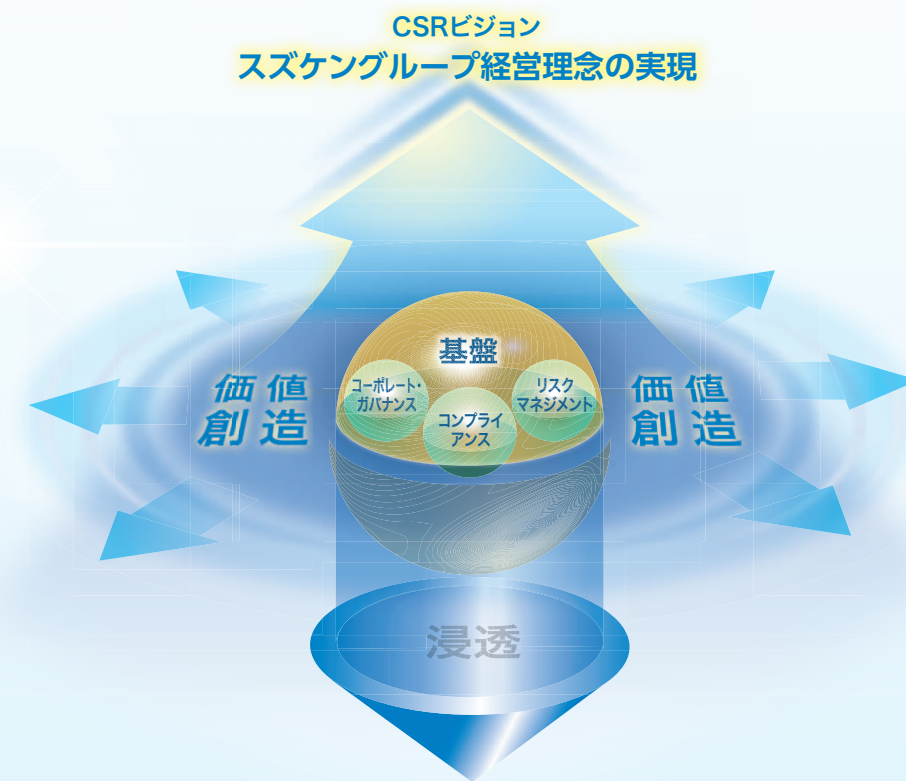
スズケングループはグループ経営理念の実現に向けて、経営の基盤となる「コーポレート・ガバナンス」「コンプライアンス」「リスクマネジメント」をより深く浸透させ、揺るぎないものにしていく一方で、新たな価値を創造し、さらなる高みに向けて挑戦し続けていきます。そのためには、ステークホルダーの皆さまへの想いを大切に、ステークホルダーの皆さまとの双方向コミュニケーションをさらに充実し、グループ総合力を発揮することが重要と考えています。

## スズケングループ経営理念

経営理念のキーワードは「笑顔=スマイル」です。健康の先には笑顔があるとの想いから生まれました。健康創造という事業領域で、患者さま、お得意さま、株主さま、社員やその家族、地域や社会などわたし達を取り巻くすべての方々に「笑顔」になっていただきたい、そんなメッセージが込められています。

|                         |   |
|-------------------------|---|
| <b>ミッション</b><br>存在意義・使命 | 「健康創造のスズケングループ」は、グループの英知を集め、すべての人々の笑顔あふれる豊かな生活に貢献し続けます<br><small>スズケングループの存在意義、社会から与えられている使命を表したものです。</small>   |
| <b>ビジョン</b><br>将来の理想像   | 「健康創造のスズケングループ」は、健康に関わるさまざまな領域で、新しい価値を創造することに挑戦し、すべての人々の笑顔を応援するベストパートナーを目指します<br><small>スズケングループの目指すべき方向、将来あるべき姿を表したものです。</small>   |
| <b>バリュー</b><br>行動基準     | <b>SMILE</b> 誠意(Sincerity)と倫理観(Morality)をもって独自性(Identity)を生かしお得意さまに学ぶ(Learning)心で進化(Evolution)し続けます<br><small>スズケングループの価値観で、社員一人ひとりの行動基準を表したものです。それぞれのイニシャルをとると、キーワードの「笑顔」、つまり「SMILE」となります。</small> |

## スズケングループCSR推進イメージ



## ステークホルダーとその想い



## CONTENTS

- スズケングループのCSR ..... 01
- トップメッセージ ..... 03
- 特集  
医療バリューチェーンにおけるスズケングループの貢献 ..... 05

- 活動報告  
重点テーマ・取り組み内容と2013年度活動実績
- 従業員 ●お得意さま ..... 09
- ビジネスパートナー ●地域社会 ..... 11
- 株主・投資家 ●地球環境
- 従業員Close-Up 「ダイバーシティの推進」  
女性が活躍できる職場に向けて ..... 13
- お得意さまClose-Up ① 「QOL向上に役立つ商品・サービスの提供」  
「やさしさ」を追求したホルター心電計の開発 ..... 15

- お得意さまClose-Up ② 「QOL向上に役立つ商品・サービスの提供」  
住み慣れた地域での生活を支援する介護サービスの提供 ..... 17
- ビジネスパートナーClose-Up 「パートナー企業などとの協働の強化」  
高アミロース米「雪の穂」の商品化に向けたむかわ町の方々との協働 ..... 19
- 地球環境Close-Up 「CO<sub>2</sub>排出量の削減」  
エコ運転・安全運転に向けたプロドライバー集団の取り組み ..... 21
- 健全な企業活動ですべての人々を笑顔に ..... 23
- 業績等 ..... 26

### 編集方針

●お読みいただくにあたって  
スズケングループは「健康創造」の事業領域で、すべての人々に「笑顔」になっていただくために、ステークホルダーごとに基本的な取り組み姿勢と重点テーマを定めています。2013年度も、それぞれの重点テーマに対し、さまざまな取り組みを行ってまいりました。本書では取り組みの一部を紹介しています。

### 報告対象

(株)スズケンとその子会社からなる「スズケングループ」を対象としています。ただし、各社ごとの取り組みに関する報告については、主語を各社の会社名にしています。

### 報告期間

2013年4月1日～2014年3月31日  
※期間以外の取り組みも一部含んでいます。

# 新たな価値の創造により すべての人々の医療と健康に貢献します

株式会社スズケン  
代表取締役会長

剡野芳樹

## 着実に浸透している CSR活動

2010年、スズケングループは「グループ経営理念の実現」をCSRビジョンと位置付け、事業を通じた社会への貢献を目指してCSR活動を開始しました。6つのステークホルダーを定義して、それぞれに対する重点テーマと具体的な取り組み内容を定めて活動を続けています。活動開始から5年目を迎え、幅広い分野で着実にその成果が表れてきていることは、本報告書でもご報告している通りです。

CSRの推進においては、各ステークホルダーの皆さまの声に真摯に耳を傾け、ご要望やご期待を的確に把握して、従業員一人ひとりが日々の活動につなげていくことが不可欠ですが、その点においてはまだ十分とは考えておりません。ステークホルダーの皆さまとの双方向コミュニケーションを一層強化することによって、すべての人々の「笑顔」の実現に近づく努力を重ねていく必要があります。

## 医療バリューチェーンを活かして 医療と健康に貢献

スズケングループは「健康創造」を事業領域として、進化を続けてきました。当グループの強みは、

業界で唯一、医療バリューチェーンを形成していることです。医薬品・医療機器の開発・製造・流通、調剤、健康支援、介護など、医療と健康に関わる事業を総合的に展開することで、時代とともに変化するニーズをいち早くとらえながら、常に新しい商品・サービスを生み出してきました。特に、医薬品流通においては一貫した流通体制を構築し、お得意さま、患者さまの元へ、商品を安定的にお届けできるよう、日々努力を重ねています。

しかし、「健康創造」の領域において、私たちが取り組むべきことはまだまだ多く、常に新たなニーズが生まれてきます。引き続き、新規事業の創出に力を注ぐとともに、自らの事業活動を常に評価し、改善を重ねていくことで、新たな価値の創造へとつなげていきます。今後も医療バリューチェーンの強みにさらに磨きをかけることによって、社会から信頼され、必要とされるグループへと進化し続けます。

## グループ総合力で 社会への貢献を目指す

少子高齢社会を迎えた日本では、社会保障費や介護負担の増加などさまざまな社会課題に直面しています。すべての人々が安心して暮らすことができる社会のために、スズケングループが

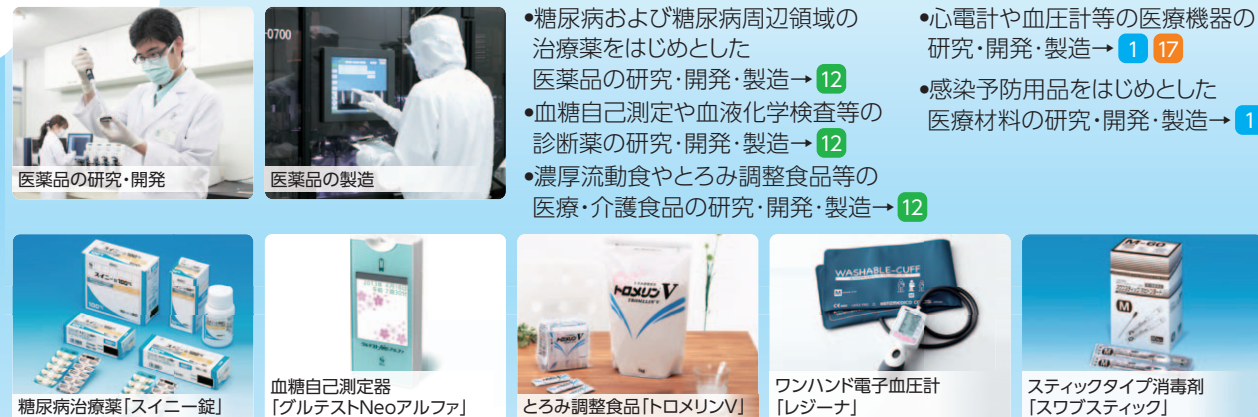
できることは何かを問い続けながら、良き企業市民としての責任を果たしていかなければなりません。

このような社会背景を踏まえて、2014年度、スズケングループは中期成長戦略「One Suzuken 2016」を策定し、「顧客信頼度ナンバーワングループの実現」「日本に加えアジアにおけるOnly One ビジネスモデルの確立」「一つのグループ構築に向けた経営基盤改革」を中期ビジョンとして掲げました。この中期成長戦略を着実に推し進めることが、グループ経営理念の実現をビジョンとするCSRの具現化であり、持続的な企業価値の向上をもたらすと確信しています。

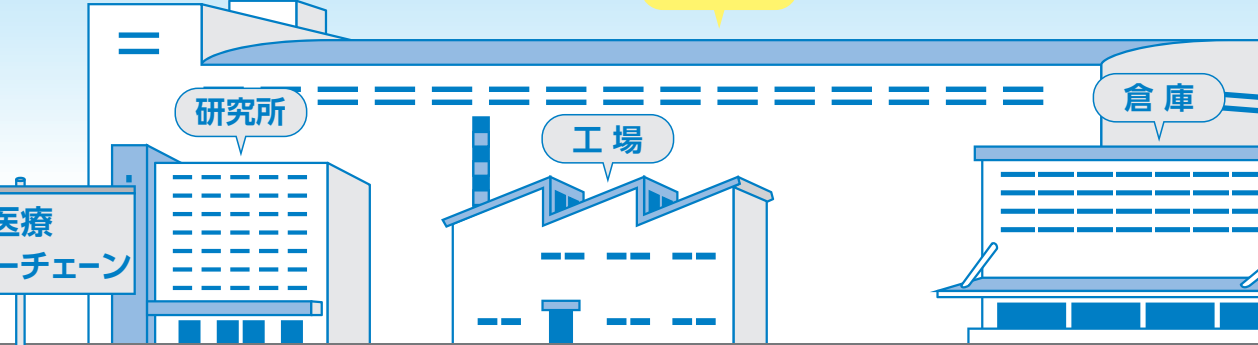
社会環境はこれからも大きく変化することが予測されますが、グループ各社の相互理解の促進と一層の連携強化により、総合力を最大限に発揮し、すべての人々の健康で豊かな生活に貢献していきます。



## 医療関連製品の提供



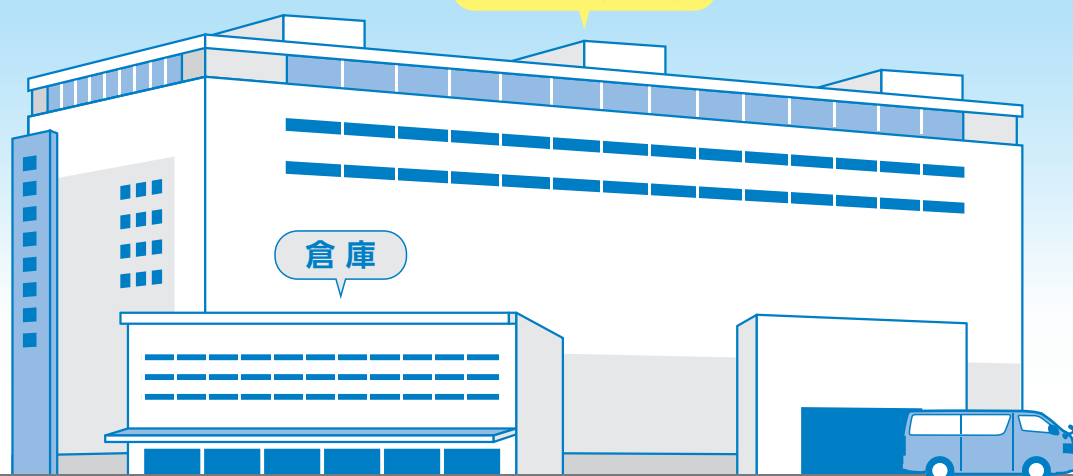
## メーカー



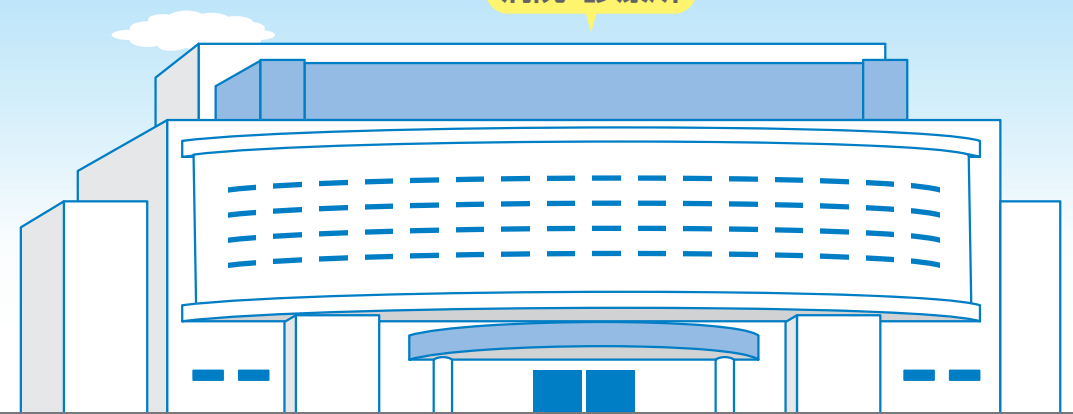
# —特集— 医療バリューチェーンにおけるスズケングループの貢献

スズケングループは「健康創造」の事業領域において医療バリューチェーンを形成し、医薬品メーカーさまから健康を願う人々まで、「すべての人々の笑顔の実現」を目指して活動しています。

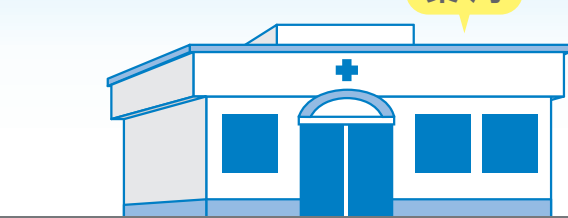
## 医薬品卸売会社



## 病院・診療所



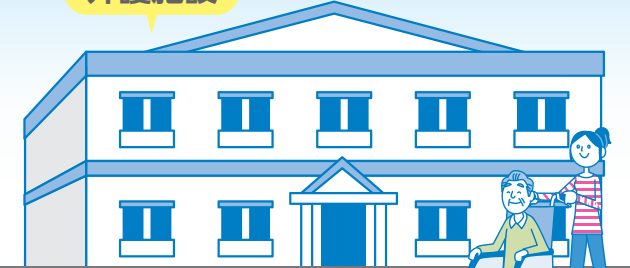
## 薬局



## 人々



## 介護施設



## 介護に関連したサービスの提供



- 訪問介護、通所介護、介護付き有料老人ホーム、グループホームなどの介護サービスの提供 → 13 27 28
- 介護用品のレンタルおよび提供 → 27 29
- 介護職員初任者研修<sup>※3</sup>、同行援護従業者・ガイドヘルパー養成研修<sup>※4</sup>の提供 → 27

※3は居宅介護支援のみ

## 健康に関連した製品・サービスの提供



- 3軸センサー 活動量計 e-style 2
- ヘルスケア製品の提供 → 1
- 医療用食品・栄養機能食品の提供 → 25 26

## 薬局機能によるサービスの提供

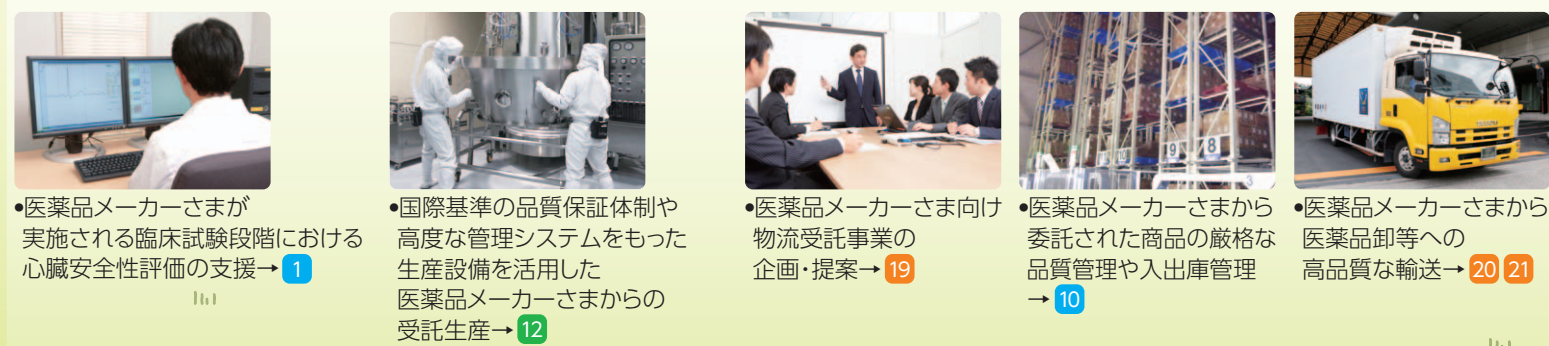


- 患者さまにお渡しする薬剤の正確な調剤 → 13 14 15 16
- ご自宅や施設で療養される患者さまの薬剤管理 → 13 14 15 16



- 患者さまへの適正な服薬指導 → 13 14 15 16

## 医薬品メーカーさまへの支援



- 医薬品メーカーさまが実施される臨床試験段階における心臓安全性評価の支援 → 1
- 国際標準の品質保証体制や高度な管理システムをもった生産設備を活用した医薬品メーカーさまからの受託生産 → 12
- 医薬品メーカーさま向け物流受託事業の企画・提案 → 19
- 医薬品メーカーさまから委託された商品の厳格な品質管理や入出庫管理 → 10
- 医薬品メーカーさまから委託された商品の高品質な輸送 → 20 21
- 医薬品情報に関する市場調査をはじめとした医薬品メーカーさまのマーケティング支援 → 18
- 希少疾病用医薬品の流通コーディネーター → 19
- 厳格な温度管理が求められる治療薬の保管および医療機関さままでの配送 → 10 19

## 医薬品卸売機能によるサービスの提供



- 医薬品等の入庫
- 医薬品等のピッキング
- 医薬品等の配送
- 医薬品等の納品
- 医薬品・診断薬・医療機器・医療材料・ニュートリション<sup>®</sup>等の流通においてメーカーさまから供給された商品の厳格な品質管理と医療機関・薬局さまへの情報提供および安定供給 → 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11
- メーカーさまの商品販売支援 → 1 2 3 4 5 6 7 8 9
- 医療材料等の必要量に応じた小分け販売による提供 → 1 2 3 4 5 6 7
- 医療機関・薬局さまへの適切な商品提案 → 1 2 3 4 7 8 9

## 医療機関・薬局さまへの支援



- 医療機関さま向けホルター心電図解析サービスの提供 → 1 2 3 4 5 6 7 8
- 医療機関さま向け適隔画像診断の支援 → 1 2 3 4 5 6 7
- SPD(病院における医薬品・医療材料等の物流管理) → 1 4 5 6 10 22
- 医療機関・薬局さま向け研修の提案・実施 → 1 2 3 4 5 6 7
- 医療機関・薬局さま向け経営を支援するシステムの提供 → 1 2 3 4 5 6 7
- 医療機関・薬局さまの開業・開局支援 → 1 2 3 4 5 6 7
- 医療機関さま向けTOPIC(経営情報)の提供 → 1 2 3 4 5 6 7 8
- 医療機関・薬局さまへの医薬品の情報提供(MR<sup>®2</sup>活動) → 12
- 不動産および診断機器の賃貸による医療機関さまの運営支援 → 23
- 医療機関・薬局さまへの広報などの支援 → 24
- 医療機関・薬局さまへの什器・備品の提案 → 25
- 医療機関・薬局さまへの損害保険をはじめとした各種保険の提案 → 25

## [本ページの見方]

本ページでは、当グループの事業を通じた社会への貢献を表しています。それぞれの貢献をページ下部の「グループ各社の会社概要」欄に記載している会社と番号で結びつけています。

- ※1 ニュートリション:「栄養」を意味し、医療・介護用食品などが該当
- ※2 MR (Medical Representative): 医療情報担当者
- ※3 介護職員初任者研修: 旧ホームヘルパー2級養成講座
- ※4 同行援護従業者・ガイドヘルパー養成研修: 視覚障害のある方や全身性の障害のある方の外出支援を行う専門職を養成するための研修

毎日の仕事ですべての人々を「笑顔」に。

## グループ各社の会社概要

### 医薬品卸売事業

医薬品、診断薬、医療機器・材料等を販売する事業(社名右は営業エリアあるいは主な事業内容を記載)

- 1 株式会社スズケン: 北海道から兵庫県(岩手県、栃木県を除く)
- 2 株式会社スズケン岩手: 岩手県
- 3 ナカノ薬品株式会社: 栃木県
- 4 株式会社サンキ: 中国地方の全県
- 5 株式会社スティス: 四国地方の全県
- 6 株式会社翔薬: 九州地方の全県(沖縄県を除く)
- 7 株式会社スズケン沖縄薬品: 沖縄県
- 8 株式会社神宮薬品: 三重県における臨床検査薬、臨床検査用機器・器具等の販売
- 9 クラウドメド株式会社: 東京都、神奈川県、埼玉県における医療機器、医療用具の販売
- 10 株式会社エス・ディ・ロジ: 医薬品等に特化した倉庫・配送業務
- 11 株式会社サンキ・メディハート: 中国地方における医薬品等に特化した配送業務

注1 株式会社エス・ディ・ロジは、株式会社スズケンロジコム、株式会社秋山物流サービス株式会社、株式会社コロワークスの3社合併により2014年10月1日スタートしました。

### 医薬品製造事業

医薬品、診断薬等を製造する事業

- 12 株式会社三和化学研究所

注2 株式会社エス・ディ・コロラボは、株式会社コロラボワレイト、株式会社SDネクストの2社合併により2014年10月1日スタートしました。

### 保険薬局事業

医療機関からの処方せんに基づき調剤を行う事業(社名右は保険薬局店舗数を記載/2014年3月末現在)

- 13 株式会社ファークロス: 190店舗
- 14 株式会社エス・ディ・コロラボ: メーカー物流の企画・提案、および希少疾病領域における総合支援
- 15 株式会社エスマイル: 113店舗
- 16 株式会社メディス: 5店舗

### 医療関連サービス等事業

(社名右は主な事業内容を記載)

- 17 ケンツメディコ株式会社: 聴診器、血圧計等の医療機器の製造販売
- 18 エス・マックス株式会社: 医薬品メーカーさまのマーケティング支援
- 19 株式会社エス・ディ・コロラボ: メーカー物流の企画・提案、および希少疾病領域における総合支援
- 20 中央運輸株式会社: 医薬品のトータル物流コーディネーター
- 21 P・J・Dネットワーク株式会社: 医薬品の全国配送ネットワーク
- 22 株式会社ジェイ・アイ・ティー: 熊本県、大分県、福岡県における病院さま向けの医療材料を中心としたSPD(物流管理システム)
- 23 株式会社札幌メディケアセンター: 医療機関向け不動産および診断機器の賃貸
- 24 株式会社ライフメディコム: 医療情報誌等の企画・編集・制作・出版、および医療に関連した広告等の企画・制作
- 25 株式会社ライフサポート: 保険代理店事業、食品等販売事業、什器備品販売事業

- 26 株式会社ガロノス: 医療食品、介護食品、栄養機能食品の販売
- 27 サンキ・ウエルビ株式会社: 中国地方における訪問・通所・施設介護支援サービス等の介護事業
- 28 株式会社エスケアメイト: 首都圏・中部地方における訪問・通所・施設介護支援サービス等の介護事業
- 29 株式会社シルバーメイト: 福岡県、佐賀県における介護用品のレンタルおよび販売、バリアフリー住宅の設計・施工

- ミライエ・イン株式会社: インターネットを利用した医師向けWeb講演会システムの提供
- グッドサービス株式会社: 輸送の業務請負
- 南九薬サービス株式会社: 保険代理店事業
- 株式会社スズケンジョイナス: スズケングループ会社の事務作業等の請負

※2014年10月1日現在、記載の33社以外に21社のグループ会社があります。

# 重点テーマ・取り組み内容と2013年度活動実績

スズケングループは、ステークホルダーごとに重点的に取り組むテーマを設定しています。すべての従業員が重点テーマに沿った活動を行うことで、すべての人々の「笑顔」の実現を目指しています。

注1 すべてのステークホルダーに共通する経営の基盤（コーポレート・ガバナンス、リスクマネジメント、コンプライアンス）の取り組みについては、p.23～p.25で基本的な考え方とともに詳しく紹介します。  
注2 本文および各グラフの「スズケングループ11社」とは、スズケングループの卸売・物流業を担っている、(株)スズケン、(株)スズケン岩手、ナカノ薬品(株)、(株)サンキ、(株)アステイス、(株)翔業、(株)スズケン沖縄薬品、神宮薬品(株)、(株)エス・ディ・ロジ、(株)サンキ・メディハート、中央運輸(株)の11社を指しています。

## ステークホルダー

### 従業員

想い 人を大切にしたい

〈基本的な取り組み姿勢〉

従業員の健康や安全に留意し、安心して働きやすい職場をつくりたい。また、個性や価値観などを理解・尊重し、いきいきと働ける職場をつくりたい。こうした取り組みを通して、スズケングループ経営理念の実現に向かって、ともに働く従業員を大切にしていきたい。

## 重点テーマ

## 取り組み内容

安全で働きやすい  
職場環境の整備

健康増進支援の  
体制づくり

労働災害のない  
職場づくり

働きがいのある  
職場づくり

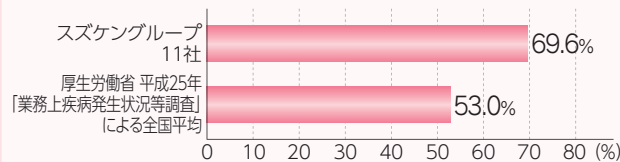
ダイバーシティの推進

ワーク・ライフ・バランスの  
推進

## 2013年度活動実績

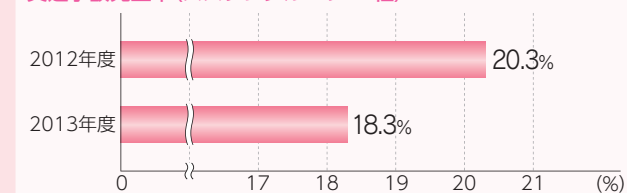
●健康増進支援の体制づくり：グループ従業員に対し、健康相談室の保健師が面談による健康指導などを行い、有所見率の改善に取り組んでいます。しかし厚生労働省発表の全国平均とスズケングループ11社の有所見率には大きなギャップがあります。今後は各現場の安全衛生委員会との連携強化など、全従業員の健康意識の向上と職場を挙げた健康増進の取り組みを推進していきます。

2013年度定期健康診断の有所見率



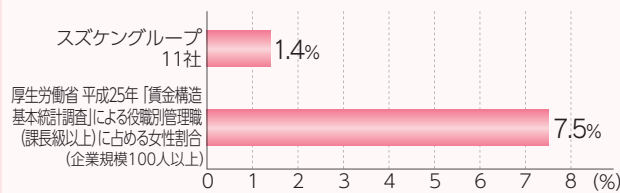
●労働災害のない職場づくり：「交通事故の発生防止」をグループ全体のテーマに掲げ、グループ各社が管理者セミナーの開催や事故防止対策の共有などに取り組みました。その結果、スズケングループ11社の交通事故発生率は昨年度と比較して2ポイント低下しました。今後もグループ一体となって、より効果的な取り組みを進めていきます。

交通事故発生率(スズケングループ11社)



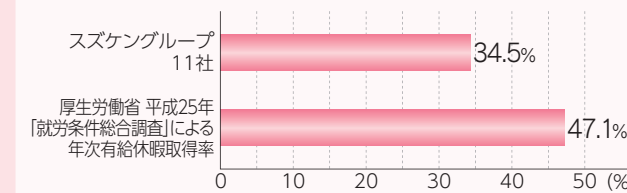
●ダイバーシティの推進：スズケングループ11社の職位者に占める女性の割合は1.4%です。ダイバーシティ推進の観点から、(株)スズケンでは、総合職の女性やその上司に対するセミナーなどを開催して、女性従業員のさらなるステップアップを支援しています。また、女性の活躍を支援する取り組みをグループ各社にも広げつつあります。Close-Up(P.13)で詳しく紹介します。

2013年度女性職位者比率



●ワーク・ライフ・バランスの推進：スズケングループでは、業務効率化の推進を中心に労働時間の適正化や、年次有給休暇の取得促進などに取り組んでいます。しかし2013年度のスズケングループ11社の年次有給休暇取得率は厚生労働省の調査結果と比較して大きなギャップがあります。今後もより一層グループ一体となって、生活余暇時間の創出を図っていきます。

2013年度年次有給休暇取得率



### お得意さま

想い なくてはならない存在になりたい

〈基本的な取り組み姿勢〉

コミュニケーションを充実させ、お得意さまの視点に立つニーズの把握に努め、グループ一体となって感動していただける商品・サービスをきめ細やかに提供します。また、高品質で安全・安心な商品・サービスを安定的にお届けできる体制を強化します。こうした取り組みを通して、お得意さまにとって、なくてはならない存在になることを目指します。

お得意さまニーズを的確に把握し、感動していただける商品・サービスの提供

グループ総合力を活かした商品・サービスの提供

QOL※向上に役立つ商品・サービスの提供

※QOL: Quality of Life(生活の質)

高品質で、安全・安心な商品・サービスの安定的な供給

商品・サービスの安定供給体制の強化

高品質な商品・サービスの提供

## ●QOL向上に役立つ商品・サービスの提供：

### 医薬品卸売事業

(株)スズケンでは、以下の心電計を開発し、発売しました。  
●2013年6月、国内最薄・最軽量の持ち運びしやすい解析付心電計「Cardico1215」新発売  
●2013年7月、超小型防水ホルター心電計「Cardy 303 pico+」新発売 Close-Up(P.15)で詳しく紹介します  
●2014年1月、心電計初のデュアルディスプレイ搭載により、過去に発生した不整脈も同時に確認可能な解析付心電計「Cardico1215D」新発売

### 医薬品製造事業

(株)三和化学研究所では、以下の製品を発売しました。  
●2013年5月、手にフィットする形、重さで高精度カラー表示による見やすい血糖自己測定器「グルテストNeoアルファ」新発売  
●2013年9月、痛風・尿酸血症治療剤「ウリアデック錠」新発売  
●2013年11月、お湯や水に溶かしてスープ感覚で栄養補給ができる粉末状濃厚流動食「リカバリーSoup」新発売  
●2013年11月、カロリーを抑えたパックごはん「スローライス」全国発売  
●2014年2月、固形化補助食品「カタメリン」新発売

### 医薬品卸売事業

### 医薬品製造事業

●商品・サービスの安定供給体制の強化：有事の際にも生命関連商品を確実にお届けするために、BCP(事業継続計画)手順書のメンテナンス、定期的な安否確認訓練、災害対策本部立ち上げ訓練、バックアップシステム立ち上げ訓練などを実施し、事業継続計画の実効性をさらに高めました。

### 保険薬局事業

●2013年度、(株)ファークロス、(株)エスマイル、(株)すずらん薬局の82店舗で、自宅等で療養される患者さまを訪問して薬剤の管理指導を実施しました。  
●(株)ファークロス、(株)エスマイルでは無菌調剤室をあわせて7店舗設置(2014年3月31日現在)し、必要に応じて無菌環境での製剤を行っています。  
●(株)ファークロスでは在宅介護支援事業所を4店舗に設置(2014年3月31日現在)し、ケアプラン作成を通して介護支援に取り組んでいます。

### 医療関連サービス等事業

●首都圏、中部地方では、(株)エスケアメントが地域のニーズに合わせて在宅複合事業所、グループホーム、介護付き有料老人ホームを展開しています。  
●中国地方では、サンキ・ウエルビィ(株)が利用者さまの幅広いニーズにお応えし、さまざまな介護サービスを総合的に提供しています。

Close-Up(P.17)で詳しく紹介します

### 医薬品製造事業

●高品質な商品・サービスの提供：2014年4月、(株)三和化学研究所では、FUKUSHIMA工園内に「生産技術研究棟」を建設しました。これにより医薬品製造の実験段階から実生産段階へ安定移行するための試作と分析評価の研究、並びに実生産における工程改善の研究の充実・強化が図られる体制になりました。

ステークホルダー

# ビジネスパートナー

想い **ともによきパートナーとして相互に発展していきたい**

〈基本的な取り組み姿勢〉

一緒に働く仲間として常に対等な立場で、コミュニケーションを大切にしながら信頼関係を深め、相互連携を強化していきます。こうした取り組みを通して、ビジネスパートナーの皆さまとともに社会への責任を果たし、ともによきパートナーとして相互に発展して行くことを目指します。

重点テーマ

取り組み内容

相互発展に向けた  
公正・公平かつ  
透明な関係の強化

公正・公平な取引  
に向けたコンプラ  
イアンスの徹底

パートナー企業  
などとの  
協働の強化

2013年度活動実績

医薬品卸売事業

・(株)スズケンでは外資系医薬品メーカーさまとの信頼関係をさらに深めるために、取引において必要となる「海外腐敗行為防止法」に

ついてe-ラーニングで学習し、知識の習得に努めました。

医薬品卸売事業

・(株)スズケンでは、物流センター業務を外部委託しているビジネスパートナーと「品質改善会議」を毎月実施し、高品質で安定的な医薬品流通の維持・向上に向けて、ともに取り組んでいます。

医薬品製造事業

・(株)三和化学研究所では高アミロース米の商品化に向けて、ビジネスパートナーである北海道むかわ町・JAとまこまい広域・生産者と協働を図り、目標や想いを共有しました。

Close-Up (P.19) で詳しく紹介します

# 地域社会

想い **かけがえのない存在になりたい**

〈基本的な取り組み姿勢〉

地域社会との共存・共栄のために、地域の皆さまと交流を図り、「健康創造」を事業領域とした当グループだからこそできる取り組みを行います。地域の皆さまの健康に関する課題の解決や健康維持・増進に役立つ活動を行い、地域社会にとって、かけがえのない存在になることを目指します。

地域住民の  
健康維持・増進支援

健康維持・増進に  
関する支援

医薬品卸売事業

・(株)スズケンでは、大規模災害時に、救急医療用ヘリコプターで患者を災害拠点病院へ搬送する際の、着陸・駐機の場として活用していただくために、2013年11月、千葉物流センターにヘリポートを設置しました。

保険薬局事業

・(株)ファークス、(株)エスマイルでは、地域のすべての皆さまに健康になっていただきたいという想いから、「健康相談会」や「子供薬剤師体験」などのイベントを実施し、気軽に健康の相談にご来局いただけるきっかけづくりをしています。

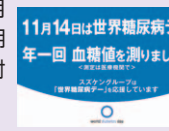
医薬品卸売事業

医薬品製造事業

保険薬局事業

・国際連合が定めた11月14日の「世界糖尿病デー」の趣旨に賛同し、2013年10月から11月にかけて、糖尿病の予防、治療、療養を喚起する啓発活動に取り組みました。

- 1 医療機関・薬局への「世界糖尿病デー」公式チラシ配布および趣旨説明
- 2 営業担当者によるブルーサークル(襟元)着用
- 3 営業担当者によるオリジナルプレート(胸元)着用
- 4 社用車(約6,000台)へのオリジナルステッカー貼付
- 5 スズケングループの保険薬局に「世界糖尿病デー」公式ポスターを掲示



次世代の育成支援

・子どもの  
健全な成長の支援  
・学生の教育に  
関する支援

医薬品卸売事業

・子どもの健全な成長の支援:次世代を担う子供たちへの健康教育にお役立ていただくために、幼稚園・保育園など未就学児童を預かる全国611施設に、時季の健康をテーマとした「オリジナルカレンダー」を寄贈しました。

保険薬局事業

・学生の教育に関する支援:全国で薬学生の実務実習を受け入れています。(認定実務実習指導薬剤師:161名/2014年3月31日現在)

# 株主・投資家

想い **スズケングループを深くご理解いただきたい**

〈基本的な取り組み姿勢〉

適時・適切な情報開示に加え、双方向コミュニケーションのさらなる強化と株主・投資家の皆さまの視点に立ったIR\*活動を充実させます。また魅力のある配当・株主優待などの株主還元を努めます。こうした取り組みを通して、株主・投資家の皆さまに当グループを深くご理解いただくことを目指します。

\*IR:株主・投資家向け広報

株主・投資家の  
皆さまとの  
コミュニケーション  
強化

適時・適切な  
情報開示

IR活動の充実

・透明性の高い経営体制構築の一環として、「企業倫理綱領」に企業情報の適切かつタイムリーな開示についての具体的な指針を明文化し、積極的かつ適時・適切な情報開示を実践しています。

- ・アナリスト・機関投資家さまに対して、2013年5月に「2013年3月期決算説明会」、同年11月に「2014年3月期第2四半期決算説明会」を開催しました。
- ・2013年7月、名証IRエキスポに出展し、個人投資家の皆さまとのコミュニケーション強化を図りました。

・2013年8月、医薬品製造事業において、企業と医療機関等の関係の透明性に関する指針を定め、ホームページに「資金提供に関する情報」を公開しました。

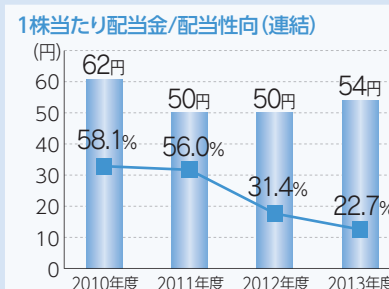
- ・2013年7月、アニュアルレポート2013を発行しました。機関投資家さま向けに、英文と和文のアニュアルレポートを制作しています。
- ・2013年度は、アナリスト・機関投資家さま向け個別ミーティングを51回開催しました。

株主還元の充実

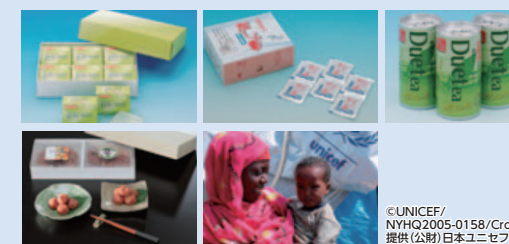
安定的な配当の  
継続

株主優待の充実

●安定的な配当の継続:連結配当性向30%を目標とした安定的な配当を実施することを基本方針とし、継続的な業績向上に基づく増配を目指しています。



●株主優待の充実:株主優待制度を設けています。株主さまのご要望に幅広くお応えするため、選択式を導入しています。



©UNICEF/NYHQ2005-0158/Crowe 提供(公財)日本ユニセフ協会

# 地球環境

想い **地球の健康に貢献したい**

〈基本的な取り組み姿勢〉

環境に関連する法律・規則および協定などを遵守し、環境マネジメントシステムに基づいて継続的な改善に努めることにより、地球の健康に貢献することを目指します。

地球温暖化対策  
の強化

CO<sub>2</sub>排出量の  
削減

省資源・循環型社  
会への貢献

環境にやさしい  
製品の開発

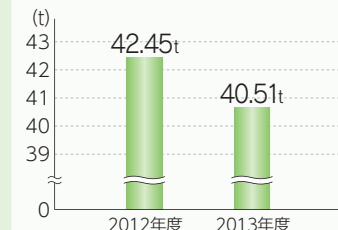
●CO<sub>2</sub>排出量の削減:スズケングループ11社では、以下の取り組みを中心にエネルギー消費の削減を行いました。

- ・業務改善による活動時間の短縮
- ・空調機使用の適正化
- ・節電効果の高い場所のLED化
- ・省エネ車両への切り替え
- ・エコ運転励行による燃料消費量の低減

Close-Up (P.21) で詳しく紹介します

その結果、2013年度の売上高当たりのCO<sub>2</sub>排出量は2012年度と比較して約4.6%削減しました。今後もグループ一体となったエネルギー使用の適正化に取り組み、CO<sub>2</sub>排出量を削減していきます。

スズケングループ11社の  
売上高10億円当たりのCO<sub>2</sub>排出量



医療関連サービス等事業

●環境にやさしい製品の開発:ケンツメディコ(株)では、2013年5月、環境や人体に深刻な影響をおよぼす水銀を使用せず、水銀血圧計と同等の正確性を持つ卓上型の「水銀レス血圧計 KM-380J」を新発売しました。

従業員  
Close-Up

ダイバーシティの推進  
株式会社スズケン

# 女性が活躍できる職場に向けて

社会環境が急速に変化する中、さまざまな経験や考えを持つ人が、お互いの個性や能力を認め合い、意見を出し合うことで、新たなアイデアや仕組みを創り出していく「ダイバーシティ」の推進が求められています。ダイバーシティには、年齢、性別、国籍といった様々な観点がありますが、(株)スズケンでは「女性の活躍推進」が企業の成長の鍵を握ると考え、重点をおいて活動しています。

その一環として、「女性の職位者登用」「仕事と育児の両立支援」に取り組んでおり、前者においては、職位者に向けた登用支援として「女性リーダー育成支援セミナー」を開催しています。また、女性職位者の育成には上司の理解や支援が不可欠であることから、「上司向けセミナー」をあわせて開催しています。後者においては、育児・介護休業法で定められた規定を上回る休業制度や短時間勤務措置を設け、男女が共に仕事と育児を両立できる環境の整備を推進しています。

さらに、女性の活躍推進をグループ全体で展開する一歩として、医薬品卸売事業会社3社(株)サンキ、(株)アスティス、(株)翔薬)にも活動を広げています。仕事と生活の調和を図りながら、女性がいきいきと活躍できる魅力ある職場づくりが、会社の活力を生み出すと考えています。



期待される役割行動について、グループで話し合う参加者たち



女性職位者の経験談やアドバイスを熱心に聞き入る参加者たち

## グループ合同 女性営業担当者セミナー の開催

医薬品卸売事業4社(株)スズケン、(株)サンキ、(株)アスティス、(株)翔薬)の女性営業担当者を対象に、今後のキャリアプランを考えるセミナーを開催しました。



女性リーダー育成の課題を抽出し、それらの課題に向けて徹底的に議論します

## 上司向けセミナーの開催

女性リーダー育成支援セミナー参加者の上司が、女性リーダー育成の重要性を理解し、職場での指導育成に積極的に関わることを促進するセミナーです。参加者は、部下との対話の機会を増やし、コミュニケーションを活性化することが育成につながることを学び、上司の役割への認識を深めました。

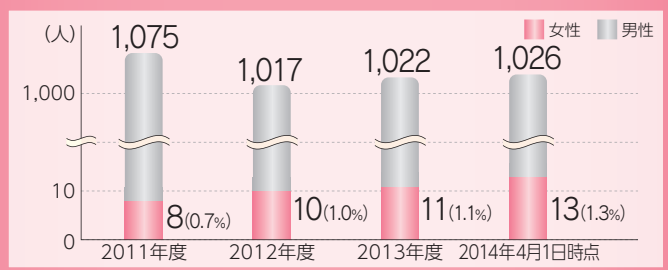
## 女性リーダー育成支援セミナーの開催

セミナーでの学びを通して、「①職場のリーダーとなるために、期待される職務行動の原理原則を習得し、自身の行動を変化させていくこと」、「②自身のキャリアビジョンを描き、自分の役割と仕事の再設計をすること」を目指します。



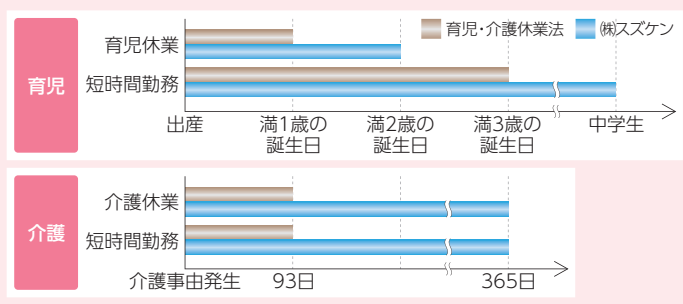
自身のキャリアビジョンを発表し、参加者と議論を交わすことでリーダーの資質を磨きます

### (株)スズケンの男女別職位者数の推移



ここ数年、女性職位者は約1%で推移しています。この比率を上げるために2016年度末までに25名の女性職位者登用を目標としています。

### 育児・介護に関する(株)スズケンの支援体制



(株)スズケンでは、育児・介護休業法以上の休業制度、短時間勤務措置を独自に設け、仕事と育児・介護を両立するための働きやすい職場づくりを推進しています。

### 今後の展望

(株)スズケンは、2016年度に25名の女性職位者登用を目標に、継続的に女性リーダーを輩出できる仕組みの構築に取り組んでいます。その一環として、2014年度は職位者としてマネジメント能力を発揮することに意欲的な女性従業員を対象に、リーダー育成支援を行っていきます。また、より多くの女性従業員が、専門能力や業務遂行能力を高めるための支援策の検討や、その能力を存分に発揮できる機会をつくることにも取り組んでいきます。

### 【株式会社スズケン 会社概要】

本社所在地 愛知県名古屋市東区東片端町8番地

創 立 1932年11月

事業内容 医療用医薬品、試薬、医療用機器、医療材料、食品などの販売、ならびに医療用機器の開発製造

売上高 1,754,807百万円 (2014年3月期)

従業員数 4,794名 (2014年3月31日現在)

お得意さま  
Close-Up①

QOL向上に役立つ  
商品・サービスの提供  
株式会社スズケン

(株)スズケンの会社概要はP14を参照

# 「やさしさ」を追求した ホルター心電計の開発

高齢化や生活習慣病の増加に伴い、不整脈など心臓に不安を抱える人が増えています。虚血性心疾患(心筋梗塞、狭心症)や不整脈などの発作性の病変の早期発見、早期診断のためには、心臓の中で起こっている電気の変化を、時間を追って記録する心電図検査が有効です。しかし、健康診断などで行われる短時間の安静時心電図検査や運動負荷心電図検査では異常が発見できないことがあります。より詳しい状態を調べるためには、日常生活環境での心電図を記録する必要があり、それを可能にしたのが「ホルター心電計」です。

国内では1977年に初めて誕生しましたが、「1日中身体に装着するには大きくて重い」「カセットテープに記録するため、データの精度が悪い」「故障しやすい」「入浴の際の心臓の変化が記録できない」などの問題がありました。(株)スズケンではこれらの問題を解決するため、デジタル化、小型軽量化、防水化などの新しい技術を採用し、「人にやさしい」ホルター心電計を開発してきました。また、ホルター心電図の解析は、一般の心電図と異なる専門の知識を必要とします。(株)スズケンはホルター心電図解析センターを立ち上げ、正確で迅速な解析サービスを展開することで、医療機関の支援にも取り組んでいます。

## 株式会社スズケンのホルター心電計開発の歴史

1987年

challenge 1  
マイクロカセット式で  
小型化

- (株)スズケンが初めて開発したホルター心電計です。
- カセットテープに「マイクロカセット」を採用し、小型化を図りました。



1994年

challenge 2  
世界初のデジタル化

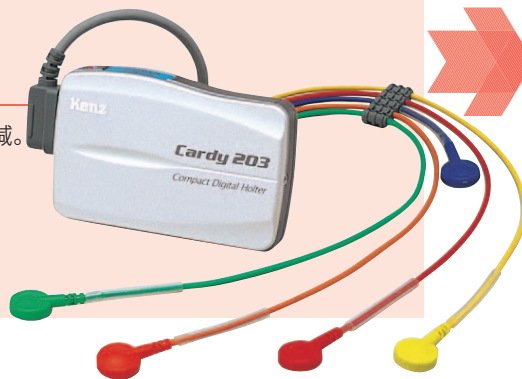
- 「フラッシュメモリ」を採用し、世界初のデジタル化に成功しました。
- 安定性が向上し、故障しにくくなりました。
- 心電図データの精度が大幅に向上。正確な診断が可能になりました。
- カセットテープの回転音が無くなり、睡眠時の快適性がアップしました。



2000年

challenge 3  
小型軽量化

- 重量が72gに半減。装着時の負担が軽減しました。



2011年

challenge 4  
さらなる小型軽量化

- 「幅28mm×高さ42mm×厚さ9mm」「重量13g」のコンパクトボディを実現しました。
- 本体部分に車の部品に使われている高強度の「PES樹脂」を採用しました。



2013年

challenge 5 防水化

- 装着したままの入浴やシャワーが可能になりました。
- 入浴の際のヒートショック\*などの心臓の変化を記録できるようになりました。

\*ヒートショック: 血圧や心拍の急変動など、急激な温度変化が身体に及ぼす影響



### ホルター心電図解析サービス

臨床検査技師による解析と循環器専門医による判読を行い、医療機関に報告書を送付する心電図解析サービスを展開しています。

2014年3月31日現在

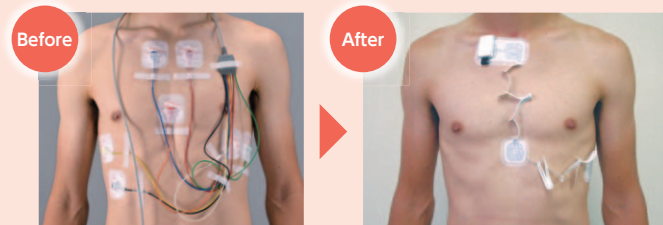


臨床検査技師の国家資格を有し、専門教育を受けた従業員が解析しています。(名古屋解析センター)

### ケーブル・電極の改良

ケーブルと電極にも、使用する人への「やさしさ」を追求しました。

- 装着時のストレスを感じない、スッキリした設計。
- 外から見ても装着していることがわかりません。



### 今後の展望

「人にやさしい」ホルター心電計を必要とされる人は、今後ますます増えていくと考えられます。そのため(株)スズケンでは、必要とされる一人でも多くの人にホルター心電計をご利用いただき、心電図検査の負担や課題を解消してまいります。

また、国内で培ったホルター心電計の開発および心電図解析サービスの技術やノウハウを海外へ展開し、近い将来、世界中の心臓に関する診断と治療に、(株)スズケンのホルター心電計をお役立ていただけるよう取り組みます。



お得意さま  
Close-Up②

QOL向上に役立つ  
商品・サービスの提供  
サンキ・ウエルビィ  
株式会社

# 住み慣れた地域での生活を支援する 介護サービスの提供

超高齢社会を迎えた日本では、2013年には65歳以上の高齢者の割合が総人口の25%に、さらに、2025年には30%に達するとみられています。高齢化の進展とともに、介護を必要とされる高齢者も増加し、2011年度には500万人を突破しました。

介護が必要になっても、住み慣れた地域で暮らし続けることは多くの方々の願いであり、それを支える社会的基盤として介護サービスはなくてはならないものです。「家族と離ればなれになりたくない」「親せきや友人にいつでも会いたい」「趣味を楽しむための生活の基盤を失いたくない」「認知症になる恐れがあるので環境を変えたくない」など、多くの皆さまの希望をかなえ、不安を軽減するために、サンキ・ウエルビィ(株)は、中国地方においてさまざまな介護サービスを展開してきました(P.18上段をご参照ください)。また、多様化する介護ニーズや認知症高齢者の増加に対応して、小規模多機能型居宅介護やグループホームを積極的に開設し、利用者さまの笑顔あふれる穏やかな生活と、介護に携わることが家族の負担軽減に努めています。



## サンキ・ウエルビィ株式会社が提供している主な介護サービス

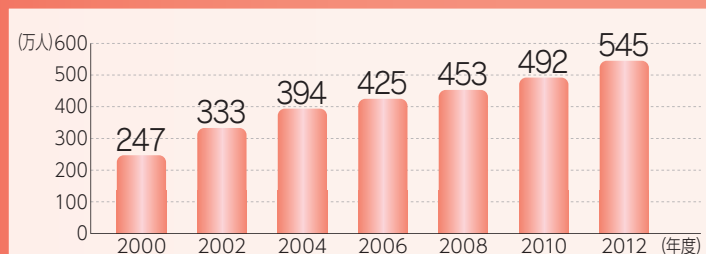
- 訪問介護**  
訪問介護員が利用者さまの自宅を訪問し、食事・排泄・入浴などの介護サービスを提供します。
- 在宅での生活を希望される高齢者の支援**
- 通所介護**  
通所介護の施設に通われる利用者さまに対し、食事・入浴・機能訓練・レクリエーションなどの介護サービスを日帰り提供します。
- 小規模多機能型居宅介護**  
「通いサービス(通所介護)」「泊まりサービス(短期入所生活介護)」「訪問サービス(訪問介護)」を組み合わせて、24時間365日年中無休で支援します。
- 認知症の高齢者が住み慣れた地域で生活するための支援**
- グループホーム**  
認知症の方に自分らしく生活していただくための住居です。認知症の進行を緩やかにするために、家庭に近い雰囲気の中で穏やかな共同生活を営んでいただくことを支援します。
- 高齢者が安心・安全に生活できる新たな居住空間の提供**
- サービス付き高齢者向け住宅**  
居室の広さやバリアフリー構造などの基準が設けられた高齢者向けの居住施設です。介護の専門家が常駐しており、安否確認と生活相談のサービスを提供します。

## 小規模多機能型居宅介護を軸とした複合的サービスで安心感を提供

住み慣れた地域での暮らしを支えるためには、地域に密着した多様かつ柔軟な介護サービスを、24時間365日、切れ目なく提供する必要があります。そのために、サンキ・ウエルビィ(株)は「小規模多機能型居宅介護」に力をいれており、現在、中国地方の22カ所で運営しています(2014年3月末現在)。例えば、ある利用者さまは小規模多機能型居宅介護の通いサービスをほぼ毎日利用されながら、週に数回は訪問サービスを利用されています。また、ご家族が不在になる時などは泊まりサービスを利用されるというように、ご本人の体調やご家庭の事情に応じて、サービスを柔軟に組み合わせて利用することで、在宅生活を継続されています。2012年に開設した「ウエルビィ吉島」(広島市中区)は、

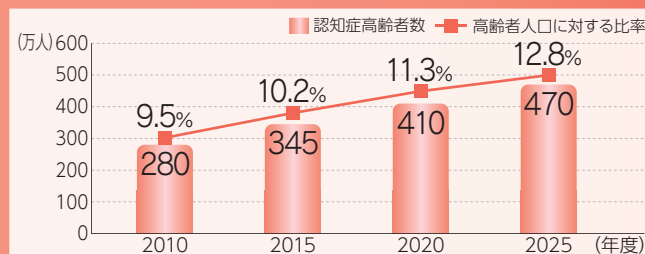
小規模多機能型居宅介護を軸に、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅を併設した複合型事業所であり、利用者さまのニーズや介護の必要度に応じたサービスの提供が可能です。例えば、認知症の進行は在宅介護を困難にする大きな要因ですが、グループホームを併設していることがご家族の安心を支えており、「できるところまで在宅介護を続け、いざとなったらグループホームを利用しよう」という選択も可能にしています。また、サービス付き高齢者向け住宅の入居者さまにとっては、介護が必要になった時にも、同じ建物内に併設する小規模多機能型居宅介護の通いサービスや訪問サービスを利用できるため、安心につながっています。

### 高齢者の要介護および要支援認定者数



公的介護保険制度が始まった2000年度と比較して、現在の高齢者の要介護および要支援の認定者数は倍以上となっています。出典:厚生労働省「平成24年度 介護保険事業状況報告」

### 認知症高齢者数の将来推計



認知症高齢者は15年間で約1.7倍に増加すると予想されています。出典:厚生労働省「認知症高齢者数について」(平成24年)

### 今後の展望

介護を必要とされる高齢者の増加とともに、介護をめぐる家庭や地域の状況も大きく変容することが予測されます。それぞれの地域における介護ニーズをこれまで以上に調査、探索して、適切なサービスを提供することに努めていきます。また、安心して在宅療養を継続していただくために、医療と介護は車の両輪です。今後、訪問看護などの医療系サービスの充実とともに、医療機関や保険薬局との連携を図ることで、地域の多様なニーズにお応えしてまいります。

### 【サンキ・ウエルビィ株式会社 会社概要】



本社所在地 広島県広島市西区  
商工センター  
6丁目1番11号  
創 立 2000年3月  
事業内容 介護保険サービス、  
生活支援サービス  
売 上 高 5,517百万円  
(2014年3月期)  
従業員数 596名  
(2014年3月31日  
現在)

ビジネスパートナー  
Close-Up

パートナー企業などとの  
協働の強化

株式会社  
三和化学研究所

# 高アミロース米<sup>※1</sup>「雪の穂」の商品化に向けた むかわ町の方々との協働

※1 高アミロース米：でんぷんの成分の1つであるアミロース含量が25%以上のお米です。わたし達が普段食べているお米は17~20%くらいであり、アミロース含量が高いお米のほうが、糖の吸収が穏やかです。  
※2 グリセミック・インデックス(GI)：食品中の炭水化物(糖質)が体内で消化吸収される割合を、ぶどう糖を100として数値化したものです。GIが低いほど消化吸収が穏やかです。「スローライス」のGI値は40(自社データ)であり、コシヒカリのGI値は80と報告されています。

人と自然が輝く  
清流と健康のまち  
むかわ町



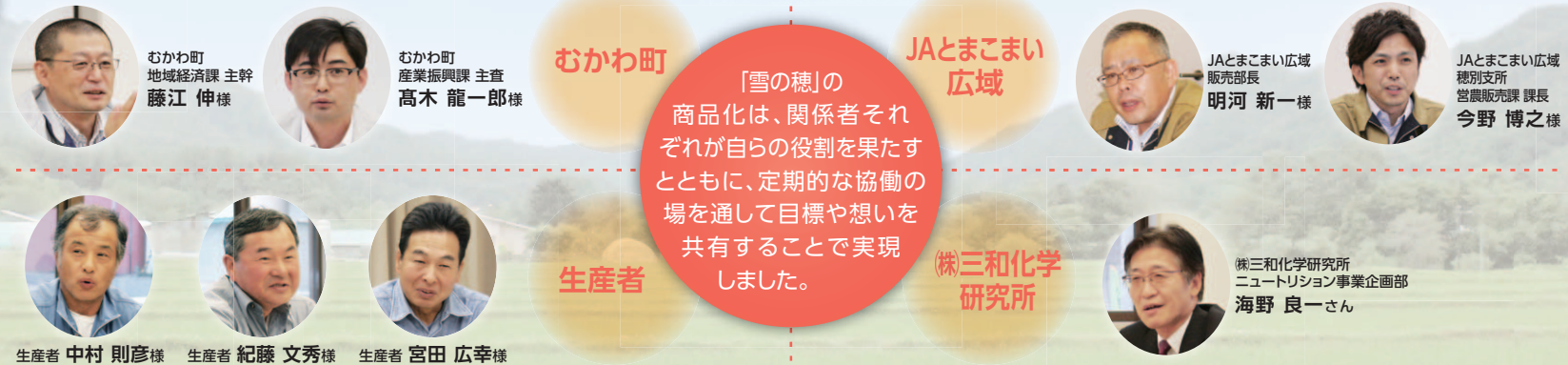
「雪の穂」を原材料とした「スローライス」誕生までの苦労話など、当時を振り返る関係者

## 「雪の穂」への想いの共有

「雪の穂」の商品化は、町の促進事業と位置付けています。2013年は専用の米選機、2014年は湿度調整機能付きの保管庫2棟の導入費用を助成しました。一方で、町民の健康維持・増進にも活かそうと、ヘルスアップ教室で「スローライス」の試食会や血糖値をテーマにした勉強会も行い、これまでに約400人が参加しました。農業振興という面からも、「スローライス」の消費拡大に期待しており、将来的には、「雪の穂」を町の主力品種の1つとして育成したいと考えています。

「雪の穂」という新しい特性を持ったお米を、必要とする消費者の皆さんにどのようにお届けするか、(株)三和化学研究所やむかわ町と一緒に知恵を絞ってきました。

今後は、「雪の穂」の特性を活かして、パックごはんだけでなく、スイーツや加工食品としても展開できれば、より多くの消費者に届けられるのではないかと考えています。むかわ町のブランド米として、「雪の穂」そして「スローライス」を大きく育てていきたいです。



「雪の穂」の機能性を担保するために品種を固定することに一番気を遣いました。作業工程の中で「雪の穂」に他の品種が混じってしまわないようにするために、コンバイン・トラック・乾燥機・粃すり機・米選機などの作業機械の中に一粒の米粒も残さないよう、念入りに掃除をします。また、「雪の穂」の特性を損なわないように、肥料の調節などに気を遣い、慎重に育てています。今後、作付量が拡大しても、品質を保てるように細心の注意を払って「雪の穂」を作っていく予定です。

当社にとってお米の品種改良・育成は初めての経験でした。まず「雪の穂」の機能性を確認するために、動物を用いた実験から始めて、その後、ヒトでの臨床試験を約5年間行うことで、普通のお米に比べてGIが低いということを見出しました。「雪の穂」を原材料とした「スローライス」は、炭水化物の摂取を控えなければならない方やカロリーコントロールが必要な方に召し上がっていただきたいです。



◀スローライス  
高アミロース米「雪の穂」を使用し、高圧無菌製法で炊き上げたパックごはん



## 長年の信頼関係から生まれた「スローライス」 元穂別町長 横山 宏史様



むかわ町の前身の一つである旧穂別町と(株)三和化学研究所(以下、三和化学)との関わりは1980年の企業誘致から始まりました。1982年には北海道工場が開設され、多くの雇用が生まれました。歴代の旧穂別町長は三和化学の社長をはじめ幹部の方々と互いに訪問し合い、情報交換を行うなど信頼関係を深めてきました。

2004年、普通のお米よりもGIの低い可能性のある品種を見つけた旧穂別町では、糖尿病領域の製品開発に注力している三和化学へ商品化を持ち掛けました。その後、関係各位の努力により、約10年を経て達成されました。今後は、「スローライス」の消費量が増加し、むかわ町の多くの田んぼで「雪の穂」が作付けされることを願っています。

## 今後の展望

10年の歳月をかけて「スローライス」を世の中に送り出すことができました。しかし、まだスタートラインに立ったにすぎません。糖尿病治療のベストパートナー企業を目指す(株)三和化学研究所では、より多くの皆さまに「スローライス」の優れた特性を知っていただき、食生活に取り入れていただけるよう、ビジネスパートナーとの連携をさらに強化してまいります。それが、むかわ町の農業振興への貢献、さらには各関係者の努力に報いることになると考えています。

## 【株式会社三和化学研究所 会社概要】



むかわ町穂別にある北海道工場

本社所在地 愛知県名古屋市東区 東外堀町35番地

創 立 1953年12月

事業内容 医薬品、診断薬、医療・介護用食品、ヘルスケア製品の研究開発と製造販売、医薬品の受託製造

売 上 高 67,414百万円 (2014年3月期)

従業員数 1,535名 (2014年3月31日現在)

地球環境  
Close-Up

CO<sub>2</sub>排出量の削減  
中央運輸株式会社

# エコ運転・安全運転に向けた プロドライバー集団の取り組み



1947年に創業した中央運輸(株)は、1977年に保冷医薬品、1979年に一般医薬品のメーカー共同配送の受託を開始しました。以来、35年以上の長きにわたって、医薬品輸配送の専門企業として品質管理に力を注ぎ、お得意さまに生命関連商品を確実にお届けするため、従業員と地域住民の安全・安心のため、そして地球環境保全のために、交通事故撲滅・CO<sub>2</sub>排出量削減を至上命題と考え、さまざまな取り組みを行っています。

その中から、交通事故撲滅・CO<sub>2</sub>排出量削減に向けて、ドライバーがエコ運転・安全運転を確実に実行するためにしている2つの「見える化」の取り組みをご紹介します。



見える化  
1

## デジタルタコグラフ

1999年より、順次、デジタルタコグラフを導入。それまで手書きであった運転日報が自動作成できるようになり、ドライバーの負担が軽減しました。2009年の新機種導入時には、ドライバーの運転技術を経済性(エコ)、安全性の両面から客観的に評価できる機能を搭載し、ドライバー一人ひとりのエコ運転・安全運転への意識および運転技術の向上につなげています。また、各営業所における毎月の業務会では、デジタルタコグラフの解析データをもとにエコ運転・安全運転意識の共有を図っています。



▲デジタルタコグラフ  
運行記録計の一種で、車両の運行にかかる速度・時間等を自動的にメモリーカード等に記録する装置。中央運輸(株)では全車両150台に搭載しています。(2014年3月末現在)



運転情報を記録するため、出発前にデジタルタコグラフにメモリーカードを挿入します

見える化  
2

## 事故防止対策委員会

輸配送の安全性向上を図るため、全社一体となって事故防止に取り組むことを目的として、「事故防止対策委員会」を設置しました。2009年8月に第一回委員会を開催以降、毎月、開催しています。「事故防止対策委員会」では安全運転を意識づけるためにさまざまなツールを提供していますが、各営業所からツールに対して感想や要望がフィードバックされることが増えてきました。全社一体となった活動へと発展する中で、「総合運転」評価(P.21下段をご参照ください)の変化に見られるように安全運転への意識が向上しています。

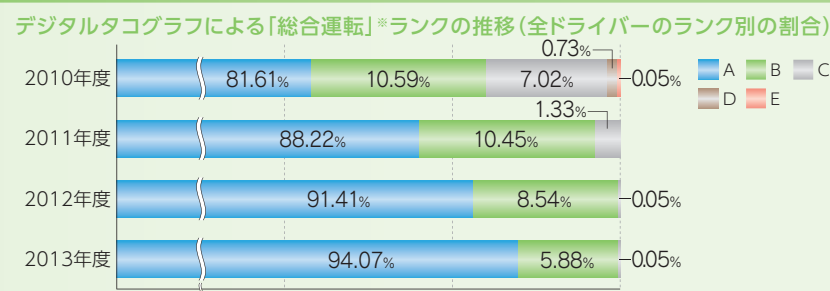


▲啓発カード  
安全運転を意識づけるために定期的に作成。ポスターの内容をカード化し、全ドライバーが常に携帯。  
▶各営業所では、従業員の目に留まりやすい場所に啓発ポスターや「事故防通信」\*を掲示し、安全運転への意識付けを図っています。  
※委員会の内容を全社員が共有するために、2012年10月より発刊。各営業所でのミーティング等に活用。



越谷営業所では、事務所の出入口やドライバーの談話室に掲示しています

### 2010年度から2013年度の3年間で運転技術Aランクが10ポイント以上増えました



デジタルタコグラフに記録された運転データから、ドライバーの運転技術を「経済(エコ)運転」と「安全運転」の2つの視点で分析。両者の合計を「総合運転」として、運転技術が高い順に、「A」「B」「C」「D」「E」の5段階で評価します。さらに、この評価結果に基づいて、必要に応じてドライバーに運転指導をし、改善につなげています。今後も、Aランクが100%に近づくよう取り組みを継続します。

\*「総合運転」=「経済(エコ)運転」+「安全運転」

### 今後の展望

今後も、エコ運転・安全運転の意識強化、運転技術の向上、ドライバーの業務の負担軽減を図るために、デジタルタコグラフへの新機能搭載を含め、新たな技術やツールの活用を推進します。同時に、事故防止対策委員会を中心に継続的な啓発活動を行うとともに、タイムリーで効果的な情報発信、ドライブレコーダー映像の有効活用など、マンネリ化による意識の低下をきたさないよう新しい取り組みにもチャレンジしてまいります。

### 【中央運輸株式会社 会社概要】



本社所在地 東京都中央区日本橋大伝馬町10番2号  
 創 立 1947年6月  
 事業内容 一般貨物自動車運送事業、特別積合せ貨物自動車運送事業、貨物運送取扱事業、倉庫事業  
 売 上 高 7,450百万円(2014年3月期)  
 従業員数 282名(2014年3月31日現在)

# 健全な企業活動で すべての人々を笑顔に

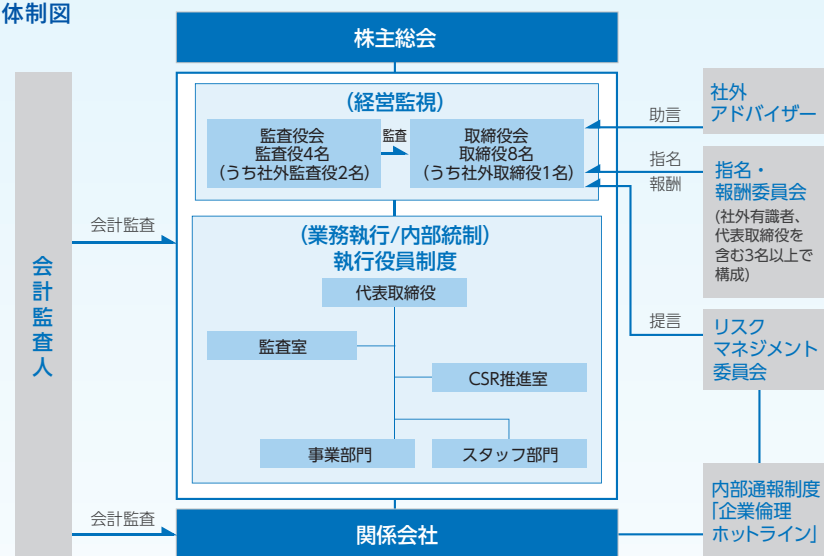
## コーポレート・ガバナンス

### コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

当グループは、コーポレート・ガバナンスの強化を経営の重要なテーマと位置づけ、「マネジメント体制の強化」「リスク管理体制の強化」「ディスクロージャーおよびアカウンタビリティの充実」を

基軸とした取り組みにより、当グループに対するステークホルダーからの信頼を高め、継続的かつ健全な発展を図っています。

#### ■コーポレート・ガバナンス体制図



※各種委員会は法令に基づく委員会ではありません。

### マネジメント体制の強化

(株)スズケンでは、経営監督機能と意思決定機能を取締役が担い、業務執行機能を執行役員が担う体制としています。これまでに役員退職慰労金制度の廃止、取締役の定員枠の縮小、業績や貢献度に連動した役員報酬制度を導入しています。また、取締役の任期を定款で1年と定め、取締役の職務執行の責任強化を図っています。

グループ会社の管理体制に関しましては、「(株)スズケンからの

取締役もしくは監査役の派遣」、「関係会社管理規程に準拠した(株)スズケンへの報告・決裁承認体制」および「(株)スズケンの監査役、監査室及び会計監査人によるグループ会社各社の定期監査の実施」などにより、グループ会社の役員及び従業員の職務執行状況の監督・監査を行っています。また、グループ会社各社の特質などを踏まえ、適切な内部統制システムの整備・指導を行っています。

### 内部統制システムに関する基本的な考え方

当グループは、効率的かつ健全性が高く、また継続的な「評価」と「改善」による質の高い内部統制システムの追求と構築、コンプライアンス、リスク管理に関する方針などの周知徹底を通じた実践的運用に努めることを第一義と捉えています。

2006年5月施行の会社法・同施行規則に基づき、取締役会において、「内部統制システム構築の基本方針」を決議しています。

財務報告に係る内部統制への対応につきましては、社長直轄の組織である「CSR推進室」が中心となり、内部統制に関連する諸規程・マニュアルの整備や、運用ルールの周知徹底・教育を図るとともに、監査室との連携による運用状況の継続的モニタリングを行い、内部統制の経営者評価が確実に実施できる体制を整えています。

## リスクマネジメント

### リスクマネジメントの基本的な考え方

当グループは、リスクの発現を予防する「未然の防止」とともに、リスクが発現した際に、速やかにその状況を把握し、迅速かつ適切に対処する「影響の最小化」をリスクマネジメント

の第一義とし、これらの取り組みを通してステークホルダーからの信頼を高め、当グループの企業価値の維持向上を図っています。

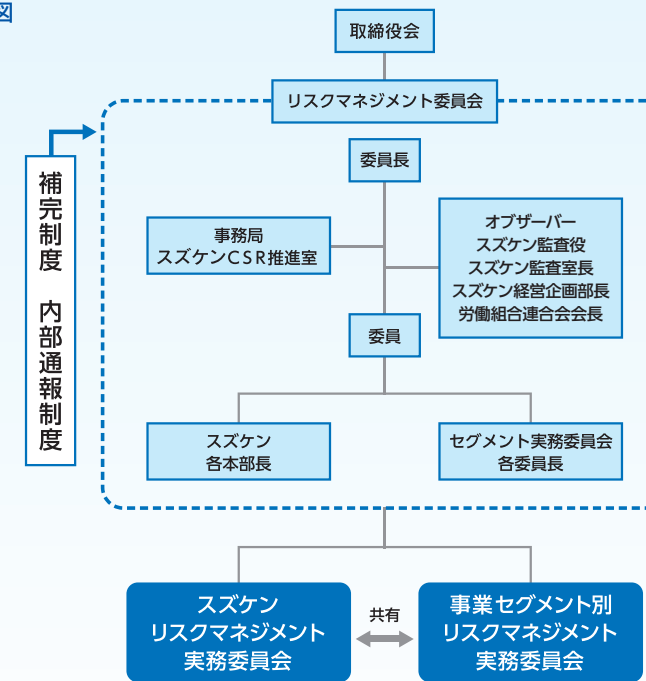
### リスクマネジメント体制

リスクマネジメント体制をさらに確固たるものにするため、取締役会の下部組織として、当グループ全体におけるリスク管理を行う「リスクマネジメント委員会」を設置し、原則3か月に1回開催しています。また、当グループのリスクマネジメントを効果的、効率的に行うために、リスクマネジメント委員会の下部組織として、各グループ会社が参画する4つの事業セグメントおよび(株)スズケンにリスク全般の実務を担う実務委員会を設置しています。委員会では、各事業の特性に合わせたリスクの洗い出しを行い、グループ

で共有して重点的に取り組むリスクを設定し、リスクの未然防止と低減活動を実施しています。

2013年度は重点的に取り組むリスクとして、「大規模災害等における事業継続計画の策定と従業員への浸透」や「交通事故の防止」、「ハラスメントの防止」などを設定し、グループ一体となって取り組んできました。取り組んだ対策は四半期に一度進捗確認を行い、対策の有効性評価を行った上で、是正や改善に結びつけています。

#### ■リスクマネジメント体制図

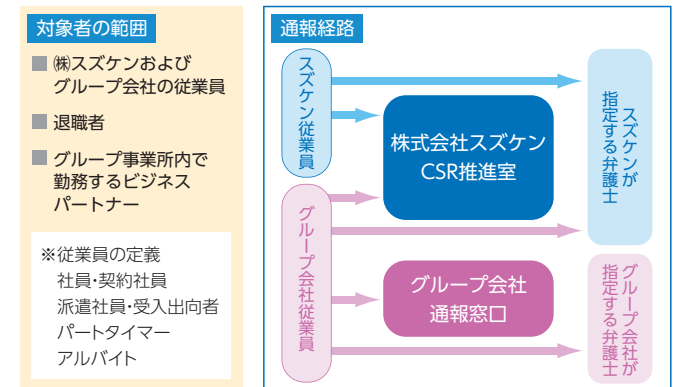


### 内部通報制度

当グループでは、内部通報制度「企業倫理ホットライン」を導入しています。

会社において法令・定款違反行為、その他スズケングループのブランドを傷つける行為が行われ、または行われようとしていることを従業員などが知ったときに「企業倫理ホットライン」へ通報することができます。当制度を運用することで、当グループは早期にリスクを察知し、速やかに是正措置を行っています。

#### ■企業倫理ホットラインの概要



# コンプライアンス

## コンプライアンスの基本的な考え方

当グループは、「コンプライアンスは行動の最上位にある」を掲げ、従業員一人ひとりのコンプライアンス意識の醸成や継続的な向上に努めています。すべての従業員が、法令遵守はもとより、

ステークホルダーの期待や要望に応える行動を実践することで、「事業の発展と社会の利益との調和」を図っています。

## 企業倫理綱領の改正

(株)スズケンが、企業倫理に対する会社の姿勢と、それに基づく役員や従業員一人ひとりの行動の拠りどころとなる行動規範を、「企業倫理綱領」として明確にしています。2014年4月、この「企業倫理綱領」を抜本的に改正しました。今回の改正では、「スズケングループ経営理念」および「スズケングループCSR」の

考え方をさらに反映させ、経営理念と従業員一人ひとりの行動への結びつきをより明確に示しました。

今後は、グループ会社従業員も含め、一人ひとりがステークホルダーの期待や要望にお応えできるよう、さらなるコンプライアンス意識の高揚に取り組んでいきます。

## ■(株)スズケン企業倫理綱領における基本的な行動規範

### 従業員

#### いきいきと働ける職場の形成

一人ひとりの人格・個性を尊重することを基本とし、働きやすく、働きがいのある職場づくりをおし、自己実現できる職場を実現する

### お客様

#### お客様満足度の向上

お客様起点に立ち、常にお客様に満足していただける商品・サービスの提供をおし、なくてはならない存在になる

### ビジネスパートナー

#### ビジネスパートナーとの相互発展に向けた関係づくり

公平・公正かつ透明な関係を基本とし、対等な立場での対話と協働をおし、相互に発展する良きパートナーになる

### 地域社会

#### 地域社会との共存共栄

良き企業市民であることを基本とし、地域社会の発展に向けた課題解決をおし、必要とされるかけがえのない存在になる

### 株主・投資家

#### 株主価値の更なる向上

更なる株主価値の向上を基本とし、適時・適切な情報の開示と対話機会の創出をおし、株主・投資家にとって魅力的な存在になる

### 地球環境

#### 地球環境の保全

将来の世代にわたって健康で豊かな生活を送れる環境を残すことを重要な課題と認識し、環境保全活動、地球温暖化対策に取り組むことにより、地球の健康に貢献する

## コンプライアンス講座の実施と従業員の宣誓

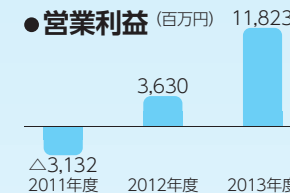
従業員へのコンプライアンス浸透に向けた活動として、毎年度、グループの役員・執行役員・従業員を対象に、e-ラーニング等によるコンプライアンス学習を行っています。学習後、「コンプライ

アンスが行動の最上位にあることを常に意識し、違反に当たる行為は一切しない」と一人ひとりが宣誓しています。

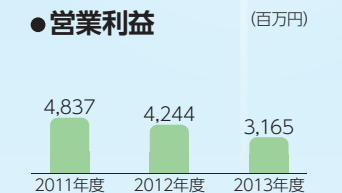
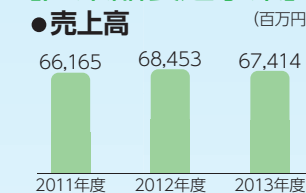
## 業績(セグメント別)

(注)セグメント別の売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

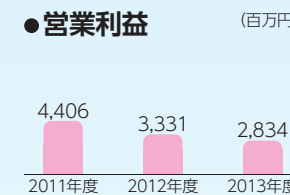
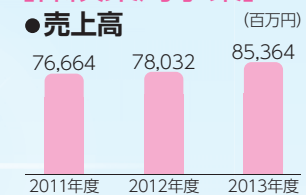
### 【医薬品卸売事業】



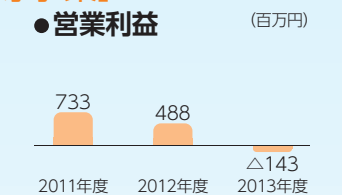
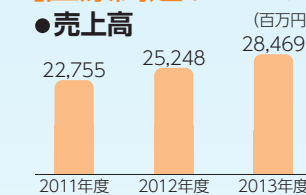
### 【医薬品製造事業】



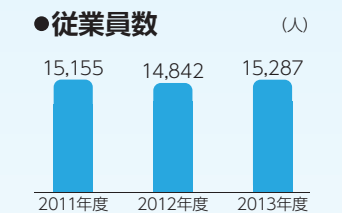
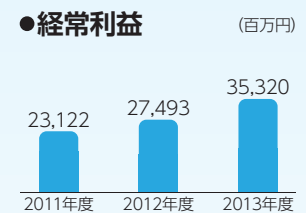
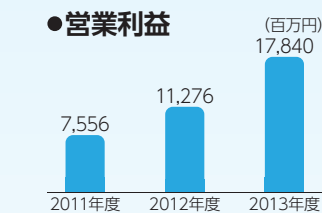
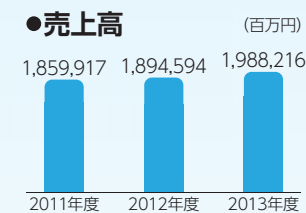
### 【保険薬局事業】



### 【医療関連サービス等事業】



## 業績(連結)



## あなたの声をお聞かせください

スズケングループが成長するためには、あなたの声が必要です。所要時間は5分程度ですので、是非アンケートにお答えください。アンケート結果は今後のCSR活動に活かしてまいります。

スズケングループCSR

検索



スマートフォンはこちら



## 編集後記

「スズケングループCSR報告書2014」をご覧いただき、まことにありがとうございます。この報告書がステークホルダーの皆さまとスズケングループをつなぐコミュニケーションツールになれば幸いです。

今回の特集では、スズケングループが形成している「医療バリューチェーン」がどのように社会に貢献しているかを俯瞰できるように、大きなスペースを充てて紹介させていただきました。制作過程に

おいて「健康創造」という事業領域の広さを再認識するとともに、無限に広がるこの領域において、スズケングループがお役に立てることもまた無限であると確信しました。

次回の報告書においても、わたし達の新たな取り組みやその成果をお伝えできるよう、CSR活動を着実に進めていきたいと考えています。

(株)スズケン CSR推進室